



令和7年7月24日



チームたかたく・はくれい

「なかよく学び すすんで働こう」「希望・意欲・自立」

子どもの育成を目指して -0724 本校職員会議⑧-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう!幸せにしよう!～

上松 武

■一生懸命はカッコいい! ～75日間の1学期終了～

- ・75日間の1学期が今日終わりました。熱中症対策として終業式は、各学部や学年、各学級で予め録画した校長の話と学部代表の発表を視聴する方法で行いました。

みなさんへの おねがい

- ①できることを ふやそう!!
- ②できることを まわりの人のために やってみよう!!
- ③まわりの人を えがおに しよう!!



わたしも やっていきます!!

いっしょう

めい

一生けん命は カッコいい



- ・1学期の始めにお話ししたお願いに触れた後、「周りの人を笑顔にしたこと」を学部ごとにいくつか挙げて、1学期を振り返りました。
- ・157名の児童生徒一人一人の、一生懸命な姿は、相手の心に「お主のためなら!」という感情を抱かせます。「がんばっているな～」 「すごいな～」という気持ちはもちろん、応援したくなる気持ちや、この人のためなら一緒にがんばりたい気持ちが沸き起こってくることを感じます。
- ・話の終わりに、私はそんな自分の気持ちを、「一生けん命はカッコいい」という言葉で子どもたち全員に伝えました。
- ・「一生懸命」や「まじめ」がダサいと揶揄される時代です。私はこの先どうなるか分からない時代だからこそ、何事にも一生懸命に、まじめに取り組むことが大切だと思っています。
- ・これからも、157名の児童生徒一人一人の一生懸命な姿を見つけ、「かっこいいね～」 「それ、つづけてみよう～」と言葉を掛け続けていきます。そして、児童生徒を一生懸命に支

えている129名の先生方にも、同じように声を掛けていきます。

■さすが、高3生! ～「一生懸命はカッコいい」のお手本～

- ・7月9日(水)、高等部3年生の校外学習に同行しました。電車の利用、上越警察署や就労継続B型事業所の見学など、卒業後の生活を見据えた学習が計画されていました。
- ・電車を利用する場面では、電車の出発時刻と到着時刻を確認したり、目的地までの電車代を用意したり、他の乗客の迷惑にならないよう行動したりしていました。事前学習の成果が表れていたと思います。
- ・上越警察署がなぜ見学場所に含まれていたのか、分かりますか。SNSに関するトラブルに巻き込まれる事件が頻発しているからです。その時は迷わず「#9110」に電話することと警察署員の方が真剣に伝えてくださっていたことがとても印象的でした。自分の身は自分で守る大切な術です。

- ・続いて QON チョコレート上越店（就労継続 B 型事業所）の見学。サービス管理責任者の方が働く上で「大事にしていること」を生徒たちに話してくれました。

- 挨拶:「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」は、お店を明るくする
- 返事:お願いしたことが分かっているのか確認する
- 報告:頼んだ仕事が終わったのか、次の仕事を頼んでいいのかを確認する
- 身だしなみ:その人の普段の生活が垣間見れる
- 休まない:仕事をお願いしていたのに休まれると穴があく

- ・このことは、すぐに身に付きません。むしろ、長い時間をかけて、繰り返し繰り返し取り組んで、「習慣化」させないとできないことです。



- ・中学部の先生方、担当している生徒は何が習慣化できていますか。何がこれからの課題ですか。
- ・小学部の先生方、担当している児童が高等部になった姿を考えるチャンスはいつでも用意されています。
- ・小中学部、高等部の 12 年間を見通せる教育環境にあります。何を今取り組むべきか、その次にやるべきことは何か、年長者の姿から考えるようにしていきましょう。

■たくさんのお陰様

□水泳授業実施に向けて感謝！

- ・ 5 年ぶりに水泳授業を実施しました。
- ・ 開始までに、事務室の皆さんからたくさんの力を借りました。特に、学校技術員の横尾さんと松澤さんには、プールの機械管理から毎日の水質管理と分からないことを引き受けてくださり、一生懸命に対応してくださいました。
- ・ お陰様で、事故なく水泳授業を終えることができました。感謝、感謝です。



□駐車場誘導のスリム化に向けて感謝！

- ・ 登校時の駐車場整理に 4 ～ 5 名の先生方が対応していたが、教頭先生方 2 名で対応できるようになりました。
- ・ 保護者の方々のご理解とご協力がなくては実現できませんでしたが、その実現に向けて力を貸してくれたのが、事務室の皆さん、とりわけ学校技術員の横尾さんと松澤さんでした。
- ・ 炎天下の中、ブロックを並べ、オレンジのラインを何本も引き、横断歩道を 3 本も作ってくれました。オレンジのラインで設けた歩道は保護者の方から「分かりやすくて安心だ」「広くて通りやすい」と大評判です。横断歩道を渡って安全に各学部の玄関まで歩いて登校することができています。まさに、事務室のご理解とご協力のお陰です。



□安心安全な給食に感謝！

- ・当校のホームページに給食や舎食のメニューが写真付きで紹介されていること、皆さんはご存じですか。内山栄養教諭が定期的に掲載してくださっています。
- ・毎日のメニューを考える際に、栄養のバランスや食感、見た目からも美味しさを感じられるような工夫などがきめ細やかになされています。
- ・毎日のことなので、美味しくて当たり前、安心して食べることが当たり前となりがちです。1学期を振り返って、毎日美味しく安心して給食や舎食を食べることができることに感謝しましょう！

たり前となりがちです。1学期を振り返って、毎日美味しく安心して給食や舎食を食べることができることに感謝しましょう！

■業務改善は「ゆとり」を生み出すことから～勤務開始時間と登校開始時間の検討～

- ・先回のたよりで、8月25日（月）に「自分たちのための『おしゃべり会』」を実施することをお伝えしました（寄宿舎の先生方、申し訳ありませんでした。いずれ計画したいと考えています）。KeyWordは「今よりも働きやすい学校」と考えています。
- ・この『おしゃべり会』では、学校評価アンケートで大勢の先生方から指摘された改善点に関して、少人数グループになって自分の考えや想い、改善策をわいわい話し合います。そして、今よりも働きやすい学校にするための、実現可能な改善策を導き出します。「なんか少しずついい感じになってきた！」「話してよかった！」という実感と手応えを先生方全員で得たいと思っています。
- ・その『おしゃべり会』でもう一つ検討したいことがあります。それは勤務開始時間と登校開始時間の変更です。
- ・以下に記載した【現状】のように、勤務開始時間前の扱いが学部や学年部で統一されていないのは問題です。現状に合うように変更すべきです。また、炎天下の中、児童生徒と保護者が並んで、玄関が開くのを待っている状況は何とか改善したいところです。
- ・先生方のご意見やお考えを、以下のようなアンケート調査から把握し、『おしゃべり会』で取り上げたいと考えています。

勤務開始時間と登校開始時間の検討について

【現状】今現在、勤務開始時間は8:20ですが、毎朝の様子を見ていると、勤務時間前の8:10頃から打合せをしている学年・学級もあれば、8:20から実施している学年・学級もあり、時間の扱い方がバラバラです。

また、登校時間よりも前に玄関に並び、玄関が開くのを待っている児童生徒と保護者が毎日一定数います。その一方で、登校開始時間に合わせて送迎する車で駐車場が混雑する状況があります。待ち時間と駐車場混雑の解消が必要だと考えます。

【対策案】現状を解消し、働きやすい職場環境と安心安全に登校できる状況を創り出すために、以下のような対策案を考えています。ご自身の考えや現在の生活スタイルに近い選択肢を選び、その理由を記入して回答願います。

①A：勤務開始時間 8:15 登校開始時間 8:20

B：勤務開始時間 8:10 登校開始時間 8:20

C：現状のまま

②選択した理由

※休憩時間は 15:15～16:00 の 45 分間。勤務終了時間は、A の場合 16:45、B の場合 16:40 とします。

・少しでもゆとりが実感できるように職場環境を改善していきたいと考えています。

■絵本の紹介

『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』 くさばよしみ 編 中川学 絵



みどころ

環境についての話し合いをしながら、頭の中では、もっと豊かになって、欲しいものがどんどん手に入る裕福な社会を望んでいる。この事実を、一国の大統領が、国際会議の場で指摘するというのは、とても勇気が必要だったことでしょう。

「わたしたちは発展するためにこの世に生まれてきたのではありません。幸せになろうと思って生まれてきたのです。」

「水不足や環境の悪化が、いまある危機の原因ではないのです。ほんとうの原因は、わたしたちがめざしてきた幸せの中身にあるのです。見直さなくてはならないのは、

わたしたち自身の生き方なのです。」どの言葉も、耳が痛く、だからこそ心に刺さりました。絶えず訪れる物欲や見栄に流されそうになった時、自分を諫めるためにそっと開きたい一冊です。 ホームページ「絵本ナビ ベストレビュー (みんなの声)」を引用

『なつのいちにち』 はたこうしろう 作



みどころ

暑い暑い夏の日。子どもの頃に体感したあの記憶の断片が蘇ってきます。真っ白な陽射し、青い草の匂い、響き渡るセミの声。そして大きな麦藁帽子をかぶって、山へ向かって一心不乱に走る少年。

広い青空の下に駆け回るこの開放感は、体験した者にしか味わえない感覚です。我が息子にも、「夢中になって遊ぶ」事でこんな記憶の残像を一つでも多く体の中に残して欲しい、心からそう思わせてくれる一冊です。

ホームページ「絵本ナビ みどころ」を引用